

# TR-570 をご購入のお客様へ

この度は、ドライブレコーダー TR-570をご購入いただき誠にありがとうございます。  
本製品はCSD-570FHをベースにした特別仕様となります。付属の取扱説明書は以下の内容に差し替えてお読みください。また製品名の表記がCSD-570FHとなりますが、ご了承ください。

## 【変更箇所】 取扱説明書 P9 付属品の変更

付属のDCコードは、  
直結配線用コードタイプとなります。



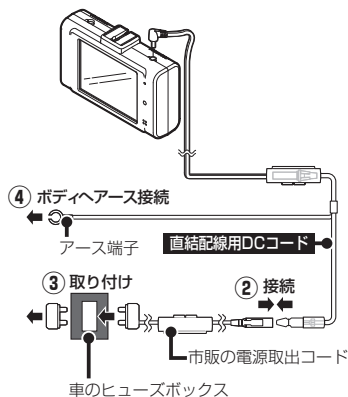
□ DCコード

## 本機の取り付け方法の補足

**1** 本体のDCソケットにDCコードを接続し、車から直接電源を取ります。

### ヒューズボックスから電源を取る場合

取り付け車両に合った市販の電源取出コード(平型ヒューズタイプ)を使用してヒューズボックスから直接電源を取ります。



- ①ACCオン/オフに連動するヒューズボックス内のヒューズ(シガーライター、ラジオなど)を探します。
- ②DCコードと電源取出コードを接続します。
- ③ヒューズボックスのヒューズを抜き、電源取出コードをバッテリー側に差し込みます。
- ④DCコードのアース端子を車のボディに接続します。

アース端子はボディの金属部に接続してください。

#### 【取り付けに適している場所】

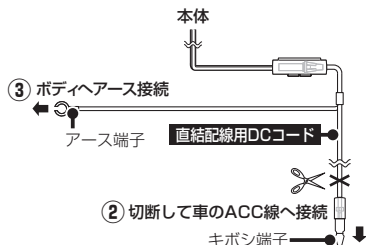
車の電装のアースポイント(コンピューター、リレーなどのアースコードを直接ボディに接続しているところ)

#### 【取り付けに適さない場所】

- ・アンダーダッシュやセンターコンソールなど樹脂を止めているネジ(タッピングネジなど)
- ・チルトステアリング装備車で、ステアリングと一緒に動作(上下)する金属部分

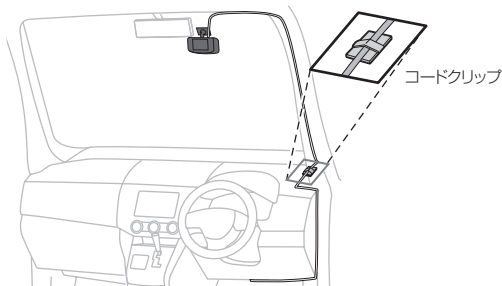
### ACC線から直接電源を取る場合

市販のエレクトロタップなどを使用して、車のACC線から直接電源を取ります。



- ①テスターなどで、車のキーをACCオンにしたときに24V、オフにしたときに0VになるACC線を探します。
- ②DCコードのギボシ端子を切り落とし、市販のエレクトロタップなどを使用して車のACC線へ接続します。
- ③DCコードのアース端子を車のボディに接続します。

DCコードは、運転の妨げにならないよう  
付属のコードクリップなどを利用して、  
配線処理してください。



# TR-570 をご購入のお客様へ

この度は、ドライブレコーダー TR-570をご購入いただき誠にありがとうございます。  
本製品はCSD-570FHをベースにした特別仕様となります。付属の取扱説明書は以下の内容に差し替えてお読みください。また製品名の表記がCSD-570FHとなりますが、ご了承ください。

## 【変更箇所】 取扱説明書 P9 付属品の変更

付属のDCコードは、  
直結配線用コードタイプとなります。



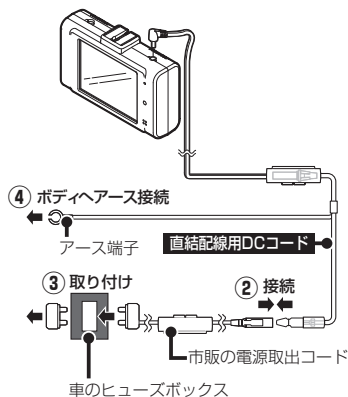
□ DCコード

## 本機の取り付け方法の補足

**1** 本体のDCソケットにDCコードを接続し、車から直接電源を取ります。

### ヒューズボックスから電源を取る場合

取り付け車両に合った市販の電源取出コード(平型ヒューズタイプ)を使用してヒューズボックスから直接電源を取ります。



- ① ACCオン/オフに連動するヒューズボックス内のヒューズ(シガーライター、ラジオなど)を探します。
- ② DCコードと電源取出コードを接続します。
- ③ ヒューズボックスのヒューズを抜き、電源取出コードをバッテリー側に差し込みます。
- ④ DCコードのアース端子を車のボディに接続します。

アース端子はボディの金属部に接続してください。

#### 【取り付けに適している場所】

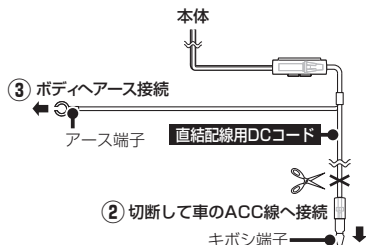
車の電装のアースポイント(コンピューター、リレーなどのアースコードを直接ボディに接続しているところ)

#### 【取り付けに適さない場所】

- ・アンダーダッシュやセンターコンソールなど樹脂を止めているネジ(タッピングネジなど)
- ・チルトステアリング装備車で、ステアリングと一緒に動作(上下)する金属部分

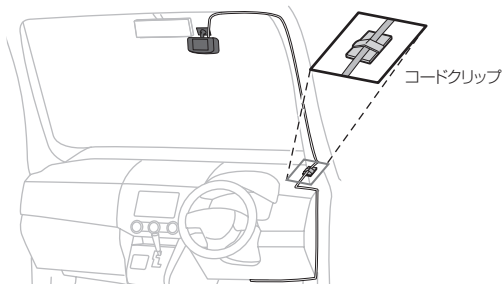
### ACC線から直接電源を取る場合

市販のエレクトロタップなどを使用して、車のACC線から直接電源を取ります。



DCコードは、運転の妨げにならないよう  
付属のコードクリップなどを利用して、  
配線処理してください。

- ① テスターなどで、車のキーをACCオンにしたときに24V、オフにしたときに0VになるACC線を探します。
- ② DCコードのギボシ端子を切り落とし、市販のエレクトロタップなどを使用して車のACC線へ接続します。
- ③ DCコードのアース端子を車のボディに接続します。



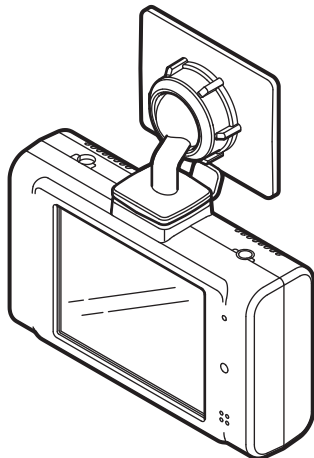
**CELLSTAR**®

ドライブ レコーダー  
**DRIVE RECORDER**  
**CSD-570FH**®

## 取扱説明書 本体編

この度は、当社製品をご購入いただきまして、まことにありがとうございます。  
ご使用になる前に、本書をよくお読みになり、本機を正しくお使いください。  
なお、お読みになったあとは、大切に保管してください。

本機は、日常の運転をドライブレコーダーで記録し分析することで、安全運転についての改善や、効果的な運転管理を推進し、交通事故の防止および安全運転を促進する目的で製造販売しております。



microSDカードは  
定期的（1週間に1回  
を推奨）にフォーマット  
してください。

Copyright © 2015 CELLSTAR INDUSTRIES Co.,Ltd. All Rights Reserved.  
Cellstariは、セルスター工業株式会社の登録商標です。  
microSD™はSDアソシエーションの登録商標です。  
microSD Logoは登録商標です。  
その他会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

**micro**  
SD

専用ビューアソフトと専用ビューア説明書は付属のmicroSDカードに格納しています。ファイルを削除した場合、下記URLよりダウンロードしてください。

<http://www.cellstar.co.jp/products/recorder/>

はじめに

取り付けと  
準備

基本操作

各種設定

困ったときは

その他

アフター  
サービス

# もくじ

はじめに

## はじめに

製品の特徴	3
安全上の注意	4
microSDカードについての取り扱い注意事項	6

取り付けと準備

使用上の注意	7
録画についての注意事項	7
取り付けについての注意事項	7
GPSについて	7
パーキングモードについて	7
ディスプレイについて	8
タッチパネルについて	8
アイドリングストップ車での使用について	8
専用ビューアソフトについて	8
カメラレンズの注意事項	8

基本操作

本体/付属品	9
付属品	9
オプション品	9

各種設定

各部の名称と機能	10
----------	----

## 取り付けと準備

取り付け方法	11
推奨フロントガラス設置位置（参考）	11
フロントガラスへの取り付け位置（正面）	11
フロントガラスへの取り付け位置（側面）	12
フロントガラスへの取り付け	12
配線処理	13
ヒューズが切れた場合	13
マウントベースから本体を取り外す	13
ダッシュボードへの取り付け	13
microSDカードの挿入および取り出し	14
microSDカードの挿入	14
microSDカードの取り出し	15

困ったときは

その他

## 基本操作

製品の使用方法	16
電源のON/OFF	16
エラーメッセージ	16
ディスプレイ	17
タッチパネルについて	18

アフターサービス

録画方法	19
録画モードについて	19
クイック録画機能（手動）	20
撮影機能（手動）	20
パーキングモードについて	21

## 各種設定

各種設定の変更	23
設定の変更方法（例：アイコン表示）	23
設定一覧	24
画像モード設定「カスタム」時、設定内容一覧	26
画像モード設定「標準/夜間/高画質/長時間」時、設定内容一覧	26
画像モード設定	27
その他の機能	28
再生モード	28
外部モニター表示	29
GPS測位について	30
フォーマット	31
システムリセット	32
キャリブレーション設定	32
ドライブレコーダー専用ビューアソフトについて	33
専用ビューアソフトの動作環境	33

## 困ったときは

故障かな？と思ったら	34
------------	----

## その他

製品の仕様	35
microSDカードのデータについて	37

## アフターサービス

アフターサービスについて	38
修理に関して	38
修理受付票	39
保証書	裏表紙

# 製品の特徴

- 録画200万画素（FullHD） \*500万画素カメラ
- 全59基の衛星で自車位置を見失わない  
GPS31 基+グロナス 24 基+みちびき 1 基+ SBAS3 基
- 自車位置を素早く約10秒でGPSを測位する超速GPS搭載
- 夜間撮影もOK（録画画質の夜間補正ができる）
- パーキングモード搭載（オプションの常時電源コード必要）
- SDエラー監視機能（P37参照）
- 2.4インチタッチパネル液晶
- 録画画像の細かい設定ができる（カスタム）
- 画像モード設定搭載（カスタム、標準、夜間、高画質、長時間）
- ボイスアシスト機能搭載
- カメラには耐熱、耐久性に優れたALLガラスレンズ製採用
- デジタルズーム搭載（2倍、4倍）
- 日本製、3年保証
- プリウスのような傾斜があるフロントガラスからトラックのような垂直なフロントガラスまで取り付け可能
- ダッシュボードにも設置可能 \*自動反転機能
- 電源ケーブルが外れても安心
- 地デジTVでも電波干渉をしないドライブレコーダー [VCCI (CISPR 22) の放射妨害波基準に適合できるレベル]
- 映像録画時に音声も録音可能
- 3Gセンサー搭載
- 録画方式は、常時録画、イベント録画、クイック録画（手動）の3種類
- 12/24V車対応
- 専用ビューアー付属
- 撮影機能
- RO-103が使用可能
- GDO-03/04を使ってレーダー探知機と連動できる

はじめに

取り付けと  
準備

基本操作

各種設定

困ったときは




その他

アフター  
サービス




# 安全上の注意

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを次のように説明していきます。






- 表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

 <b>危険</b>	誤った取り扱いをすると「死亡または重傷などを負う可能性が切迫して想定される」内容です。
 <b>警告</b>	誤った取り扱いをすると「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
 <b>注意</b>	誤った取り扱いをすると「傷害を負う可能性または物的損害*の発生の可能性が想定される」内容です。 * 物的損害とは、車両・家屋・家財などに関わる拡大損害を示します。








- お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

-  この表示は、必ず実行していただく「強制」の内容です。具体的な強制内容は、近くに文章で示します。
-  この表示は、してはいけない「禁止」の内容です。具体的な禁止内容は、近くに文章で示します。
-  この表示は、気をつけていただきたい「注意」の内容です。具体的な注意内容は、近くに文章で示します。



## 危険

-  本機は必ず定められた電圧（DC12V/24V）でご使用ください。
  - \* 火災や感電、故障の原因となります。
-  運転中に本機を操作しないでください。
  - \* 交通事故の原因となります。操作する場合は、必ず車を安全な場所に停止させ操作してください。
-  本機をエアバッグが作動する近くに設置しないでください。
  - \* 事故発生時にエアバッグが正常に作動しないおそれがあります。または作動したエアバッグにより負傷の原因となります。
-  医療用電気機器の近くでは使用しないでください。
  - \* ペースメーカーやその他の医療用電気機器に電波による影響を与えるおそれがあります。
-  水につけたり、水をかけたり、またぬれた手では絶対に操作しないでください。
  - \* 火災や感電、故障の原因となります。














## 警告

-  本機の取り付けは、必ずエンジンを切った状態でおこなってください。
  - \* 車両のキーがONの状態では取り付けると、感電および故障の原因となります。
-  本機の結合部分、スピーカーなどの穴やすき間にはピンや針などの金属を入れないでください。
  - \* 誤って差し込まれた場合は、すぐ使用を中止し取り除いてください。火災、感電、および故障の原因となります。
-  本機から煙が立つ、異臭がするなどの問題が発生した場合は、すぐに使用を中止してください。
  - \* 火災などの原因となります。
-  本機を急激に温度が上昇する場所に長期間放置しないでください。
  - \* 製品の変形および火災、爆発の原因となります。
-  コードを外すときは、必ずプラグ部分を持って外してください。また破損やキズが付いたコードは使わないでください。
  - \* コードが損傷したまま使用すると、感電および火災の原因となります。
-  本機の表面はシンナー、アルコール、ベンゼンなどの揮発性物質または有機溶剤で拭かないでください。またゴムとビニールなどを長期間接触させないでください。
  - \* 表面の変質や塗料がはげることがあり、故障および火災の原因となります。
-  本機を長時間動作した場合、レンズ部分が発熱します。直接手で触れないでください。

**警告**

-  本機は、ガラス面またはダッシュボード表面に正しく取り付けてください。
  - \* ガラス面またはダッシュボード表面をきれいに拭いたあと、本機を正しく確実に取り付けてください。正しく取り付けしていない場合、本機がガラス面またはダッシュボード表面から外れ運転中に交通事故が発生する可能性があります。
-  電源コードまたはソケット部のほこりや汚れはよく拭いて取り除いてください。
  - \* 接続不良による感電および火災の原因となります。

**注意**























-  本機に強い衝撃を与えないでください。
  - \* 衝撃により製品の破損や故障の原因となります。
-  本機の近くに磁気性がある物を置かないでください。
  - \* 製品の誤作動および故障の原因となります。
-  本機の近くには障害になるような物を設置しないでください。
  - \* 周りに障害物があるとGPSの受信に悪影響を及ぼすおそれがあります。
-  GPS機能は初期作動時、起動するまでに時間がかかります。
  - \* 受信環境、気象状況、および車両の位置などにより、数秒から数分かかる場合があります。
-  フロントガラスにメタルコーティングされた車両はGPS受信障害が発生することがあります。
-  トンネル入出時のように急激に明るさが変わる場合、逆光が強い場合、夜に光源がない場合などの条件では録画品質が落ちることがあります。
-  暗い環境では、なるべく高品質で録画するために、車両のヘッドライトやフォグランプをつけてください。
-  フロントガラスの表面や本機のカメラレンズの表面はいつもきれいにしておいてください。
  - \* ほこりや異物による乱反射や屈折現象の発生で、きれいな映像を記録することができない可能性があります。
-  本機は、推奨取付位置に設置してください。
  - \* 推奨位置でない場所に設置されると画面がよれることがあります。
  - \* 車両に応じて、よい録画ができる位置（推奨取付位置）に装着してください。
-  LED方式の信号機では画面がちらつく（フリッカー）ことがあります。
-  本機の分解、修理、または改造を絶対にしないでください。
  - \* 故障の原因となり保証を受けることができません。
-  本機は日本国内仕様です。海外ではご使用にならないでください。
-  気温の低いところから高いところへ本機を移した場合、本機内に結露が生じることがあります。
  - \* 結露したまま使用すると故障や発熱の原因となります。使用しないでください。

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

VCC1ーB

## microSDカードについての取り扱い注意事項

-  microSD カードの取り扱いには十分注意して、次の注意事項をよくお読みになりご使用ください。注意事項を守らずに発生するデータの損失および破損に関して当社は一切の責任を負いません。
-  付属の microSD カードをフォーマットすると記録ファイルや専用ビューアソフトは、全て消去されます。あらかじめパソコンなどにバックアップすることをおすすめします。
-  microSD カードに保存されたデータは、バックアップして、定期的に本体にてフォーマット（推奨：週 1 回）して使用してください。外部環境、または長期間使用している間に、データが削除されるおそれがあります。
-  microSD カードの容量によっては、起動時間が変動（長くなったり）する場合があります。
-  市販の microSD カードを使用した場合による、本機の動作異常に関して、当社は一切の責任を負いません。
-  microSD カードをフォーマットする際は、必ず本体のフォーマット機能でおこなってください。
-  microSD カードは消耗品です。一定使用期間が過ぎるとメモリーセクターの一部が損傷されて正常な録画ができない可能性があります。microSD カードによる不具合が発生した場合は、新しい指定の microSD カードと交換してください。
-  microSD カードを取り出す際は、必ず本体の電源が切れたことを確認してから取り外してください。
  - \* 本体の電源が入っている状態で microSD カードを取り出すと、データ損失などの原因となります。
-  一般的に microSD カードには、寿命があります。（各メーカーにより異なります）
  - \* microSD カードを長期間使用している、保証期間が切れているなどの原因でデータに異常が発生した場合、新しい指定の microSD カードと交換してください。
-  microSD カードを保管、または持ち歩くときは、必ずケースに入れてください。
  - \* ケースに入れずに保管または持ち歩くと、静電気および外部環境の原因により内部のデータが損失されることがあります。
-  microSD カードを使用する際には、microSD カードのロックは必ず解除してください。
  - \* microSD カードがロックされている場合は、記録、録音ができません。
-  重要なデータは、必ず他のデバイスにバックアップしてください。
  - \* 外部環境、または長期間使用している間に、データが上書きされ消去される場合があります。
-  microSD カードに本製品で記録されたデータ以外を格納しないでください。
  - \* 正しく動作しない場合があります。
-  指定の microSD カード以外は使用しないでください。
  - \* 指定以外の microSD カードを使用すると、正常に動作しない場合があります。
-  microSD カードスロットに異物を入れないでください。
  - \* カードスロットの破損、または誤動作、故障の原因となります。
-  油がついた手や濡れた手で microSD カードスロットを触らないでください。
  - \* microSD カードの損傷、または故障などの原因となります。
-  データのバックアップ、フォーマットおよび動作中には、絶対に microSD カードを取り出さないでください。
  - \* microSD カードを損傷し、使用できなくなるおそれがあります。
-  microSD カードの分解、または改造などは、絶対にしないでください。
  - \* microSD カードが破損するおそれがあります。
-  microSD カードを落下させたり、衝撃を与えないでください。
  - \* microSD カードの破損、およびデータが損失されるおそれがあります。
-  microSD カードには向きがあります。挿入するときは向きを確認して、確実に最後まで差し込んでください。
  - \* microSD カードが正しく挿入されていないと誤動作の原因となります。
-  市販の microSD カードによっては認識しにくいものや、挿入、取り出しにくいものがあります。
-  microSD カードを別に購入する場合は、必ず使用可能が確認したうえでご購入ください。
  - \* 8GB ~ 32GB（クラス 10/SDHC 規格準拠、NANDタイプは「MLC」を推奨）
  - \* 64GB（クラス 10/SDXC 規格準拠、UHSスピードクラス：UHS-1以上、NANDタイプは「MLC」を推奨）
  - \* 必ず本体にてフォーマットをおこなってください。



# 使用上の注意

## 録画についての注意事項

- 本機は自動車などの事故における証拠として、効力を保証するものではありません。
- 本機はすべての状況下で録画を保証するものではありません。
- 本機の故障や使用による損害、また録画した映像の破損や損傷によって生じた損害は、当社は一切の責任を負いません。
- 本機の動作を確認するため、急ブレーキなど危険な運転はおやめください。
- 本機で録画した被写体は、プライバシーの侵害となる場合があります。取り扱いにご注意ください。
- LED方式の信号機では画面がチラつくことがあり、色の識別ができない場合があります。それにより生じた損害は、当社は一切の責任を負いません。
- 走行中に本機を操作したり、LEDランプやディスプレイを注視しないでください。クイック録画／撮影機能をおこなう場合、周囲の安全を確認したうえで操作してください。
- 夜間モードまたは夜間補正をおこなった場合、映像にノイズが入っているように見えたり、屋間の映像が白っぽく録画されることがありますが、正常動作です。
- 録画の条件により、録画のフレームレートやビットレートが変わる場合があります。
- 電源ONのあと、録画の開始まで時間がかかります。必ず録画が開始されたことを確認してからご使用ください。

## 取り付けについての注意事項

- 本機は、本書（P11参照）にしたがって、正しく取り付けてください。  
誤った取り付けは、道路運送車両法の保安基準に違反する場合があります。また交通事故やケガの原因となります。
- 他の無線機やテレビ、ラジオ、パソコンなどの近くで使用すると、影響を受けたり、与えたりする場合があります。
- 本機は防水構造ではありません。必ず車内へ取り付けてください。
- 本機を取り付ける前に、必ずフロントガラスまたはダッシュボードとマウントベースの両面テープ貼り付け部分の油分や汚れなどをしっかり拭き取り、本機を確実に取り付けてください。

## GPSについて

- GPSの受信環境により、動作に時間がかかる場合があります。
- 前回のGPS受信から72時間を経過すると超速GPSは機能しません。その他、様々な条件により機能しない場合があります。最後に電源をOFFにしてから直線距離で300km以上離れた地点で電源をONにした場合、最後に電源をOFFにして次に電源をONしたときにGPS衛星の状態が異なる場合は、動作に時間がかかる場合があります。
- 自転車位置は、GPSの受信で測位されます。GPSが受信できない場所では、完全な自転車位置の測位をおこなうことができません。
- 本機のインボース表示や録画データに記録される日時、車両の走行速度、位置情報は、GPSの測位から算出するため、実際の数値と異なる場合があります。
- 取り付けになる車両のウィンドウが熱反射ガラスの場合、電波の透過率が低い場合GPSが受信しにくい場合や、できない場合があります。熱反射ガラスの使用の有無は車両のディーラーやメーカーへお問い合わせください。

## パーキングモードについて

---

- ・パーキングモードは、必ずオプションの常時電源コードを使用してください。直結配線用DCコードなどを接続し、直接電源を供給できる状態で設定すると、バッテリー上がりの原因となります。絶対におやめください。
- ・パーキングモードによる車のバッテリー上がりに関して当社は一切の責任を負いません。
- ・暗い場所など録画できない場合があります。

## ディスプレイについて

---

- ・同じ映像を長時間や繰り返し表示（短時間でも）した場合、液晶ディスプレイの性質により画面の焼付けが起こる可能性があります。これは保証の対象になりません。ディスプレイの明るさを暗く調整することで、焼付けの発生を軽減できます。
- ・液晶ディスプレイの性質により、輝点や減点が発生したりスジ状の色むらや明るさのむらが見える場合があります。これは保証の対象になりません。
- ・ディスプレイを太陽に向けたままにすると、故障の原因となります。車両に設置する際にはご注意ください。
- ・偏光サングラス使用時、表示が見えなくなる場合があります。

## タッチパネルについて

---

- ・走行中は、必ず同乗者が操作をおこなうか、車両を停車してから操作をおこなってください。
- ・タッチパネルを強く押ししたり、先の尖ったもので押さないでください。タッチパネルが割れて、ケガや故障の原因となります。
- ・タッチパネルの反応にズレが発生した場合、キャリブレーション設定（P32参照）にてタッチパネルを補正してください。
- ・本製品のタッチパネルは感圧式のため、タッチした際に、画面が沈んだような状態になりますが、正常動作です。

## アイドリングストップ車での使用について

---

- ・一部のアイドリングストップ車では、再始動時に電源確保のため各部分への供給電圧が低下することがあります。これにより本体の電源が落ちる場合があります。

## 専用ビューアソフトについて

---

- ・専用ビューアソフトは、付属のmicroSDカードに格納しています。microSDカードをフォーマットするとプログラムが消去されてしまいます。あらかじめパソコンなどにバックアップすることをおすすめします。また、専用ビューアソフトはセルスター工業のWEBサイトからもダウンロードできます。（<http://www.cellstar.co.jp/products/recorder/>）

## カメラレンズの注意事項

---

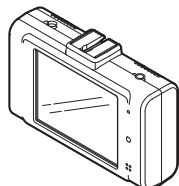
- ・本機の動作中、カメラのレンズ部分が発熱することがありますが、異常動作ではありません。レンズ部分は、大変熱くなっていますので直接手で触れないようご注意ください。

# 本体/付属品

## 付属品

本機を使用する前に、必ず同梱物を確認してください。

\* その他注意書きが同梱している場合がございます。



□ドライブレコーダー本体



□マウントベース



□ボールジョイント  
(ダッシュボード用)



□両面テープ(透明)  
(フロントガラス用)



□両面テープ(グレー)  
(ダッシュボード用)



□DCコード

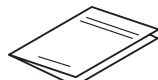


□microSDカード  
(専用ビューアソフト入り)

\* SDカード変換アダプタ、  
SDカードケース付属



□コードクリップ × 5

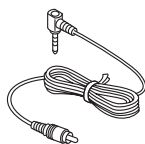


□取扱説明書(本書)

## オプション品

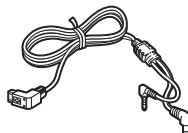
別途お買い求めください。

### ●GDO-02 ビデオ出力コード



録画中の映像を外部モニターに出力する場合に使用します。(P29 参照)

### ●GDO-03 (12V専用) 当社製レーダー探知機 接続ケーブル(3.6m)



### ●GDO-04 (12V専用) 当社製レーダー探知機 接続ケーブル(0.4m)



### ●RO-103 直結配線用DCコード



カメラ警告対応の当社製レーダー探知機に接続し、これ1本で映像出力や電源入力ができます。(P29 参照)

### ●GDO-05 常時電源コード(コード付属)

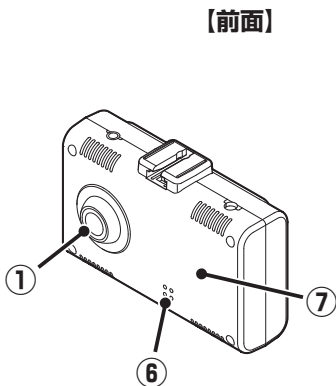
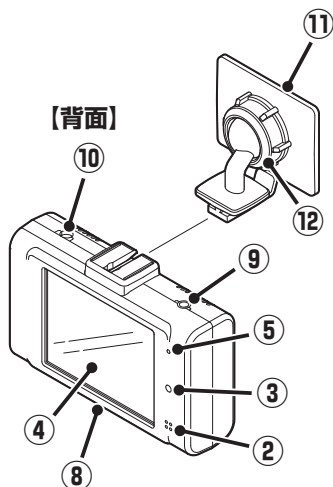


パーキングモード機能を利用する場合に使用します。  
最大7時間まで電源を供給します。(P21、P22 参照)

詳しくは、当社ホームページをご覧ください。

<http://www.cellstar.co.jp>

# 各部の名称と機能



## ① 撮影用カメラレンズ

\*出荷時に保護フィルムが貼られています。  
剥がして使用してください。

## ② マイク

映像記録中の音声を録音します。

## ③ LEDランプ

本機の動作状態を表示します。

## ④ タッチパネルディスプレイ

カメラの録画映像、再生、設定メニューの変更画面などを表示し、タッチして操作します。

## ⑤ リセットボタン

本機を再起動します。

## ⑥ スピーカー

各種警告を音声出力します。(モノラル)

## ⑦ GPS

GPS、みちびき、グロナス、SBASなどの衛星を受信します。

## ⑧ microSDカードスロット

付属または市販のmicroSDカードを挿入します。  
\* microSDカードが挿入されていないと本機は動作しません。

## ⑨ V-OUT (ビデオ出力端子)

オプションのビデオ出力コード (GDO-02)、または当社製レーザー探知機接続ケーブル (GDO-03/GDO-04) を接続します。

## ⑩ DCソケット

DCコードを接続し、DC12V/24Vを本機に入力します。

## ⑪ マウントベース

付属の両面テープでフロントガラスに取り付けます。  
\*ダッシュボードに取り付ける場合、ボールジョイントを付属のボールジョイント (ダッシュボード用) に交換してから取り付けてください。

## ⑫ 角度調整ノブ

本機の取り付け角度を調整します。

# 取り付け方法

## ⚠ 注意

本機を車両に取り付ける前に、次の内容を確認のうえ取り付けてください。

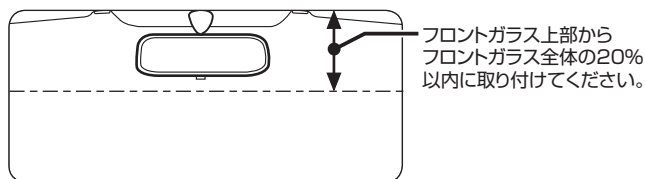
- ・本機の誤った取り付けは、道路運送車両法の保安基準に違反する場合があります。正しく取り付けてください。
- ・本機を安全に取り付けるために、取り付け作業は明るく安全な場所でおこなってください。
- ・本機を取り付ける前には、必ず車のエンジンを止め、キーを抜いた状態で取り付けてください。
- ・本機に付属のDCコードまたはオプションのコード以外のコードを使用しないでください。
- ・カメラを設置した部分のフロントガラスは、いつもきれいに保ってください。
- ・夜間走行時にはカーナビゲーションおよび、車両用モニターがフロントガラスに映り込み、記録画像に影響を与えることがあります。映り込み画像が撮影領域に入らないように角度を調整してください。
- ・本機は上空からのGPS信号を受信して自車位置を記録します。そのため本体の上や前（車の進行方向）などに金属などの障害となるものがないよう取り付けてください。
- ・本機は防水構造ではありません。雨などで本機やコードがぬれないようご注意ください。

## ⚠ 警告

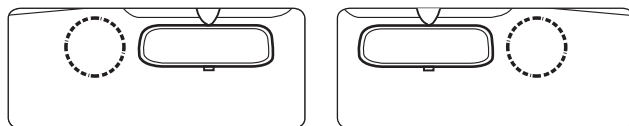
事故発生時の衝撃により本機が外れる場合がございます。フロントガラス面またはダッシュボード表面のマウントベースの両面テープ貼り付け部分の油分や汚れをしっかりと拭き取り、本機を確実に取り付けてください。

## 推奨フロントガラス設置位置（参考）

### フロントガラスへの取り付け位置（正面）



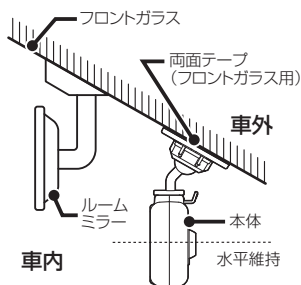
ルームミラーの後部、フロントガラスの中央に設置すると、最適の録画映像を得ることができます。



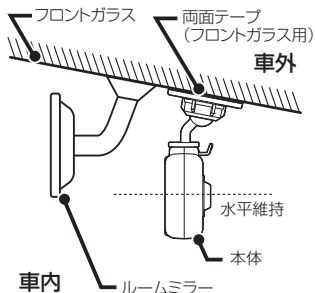
フロントガラスの中央部に設置できない場合は、広い視野角を活用してルームミラーの左、もしくは右側に設置することもできます。  
中央部に設置できない場合、録画映像が片方にかたよる可能性があります。

## フロントガラスへの取り付け位置（側面）

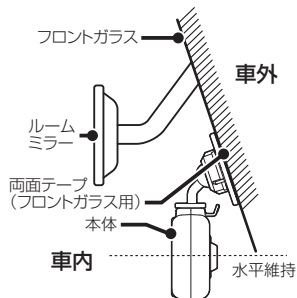
### ■ 一般的な乗用車



### ■ フロントガラスが寝ている車



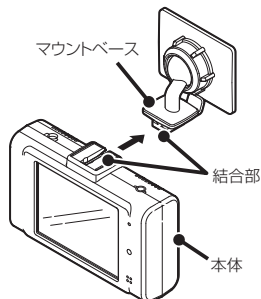
### ■ ワンボックスやトラックなど



- 図のように前方を遮ることがないように取り付けてください。
- 本機が取り付けられた状態で、図のように本体が水平を維持するように取り付けてください。図のように水平が維持できていないと、正しい状態で録画できません。
- 本機はDCコードが接続され、電源が入った時点で画面の向きを決定します。DCコードは本体の取り付けが完了してから接続してください。

## フロントガラスへの取り付け

- 1 マウントベースと本体の結合部を合わせ、矢印の方向に差し込む。

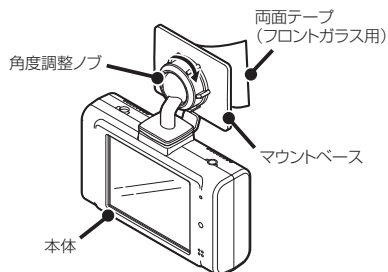


- 2 両面テープ（フロントガラス用）を使用して本機を設置する場所に取り付ける。

\* 推奨フロントガラス設置位置を参照して、取り付けてください。

- 3 角度調整ノブを右側に回して本体を固定する。

角度調整ノブを緩めると本体の取り付け角度を調整できます。

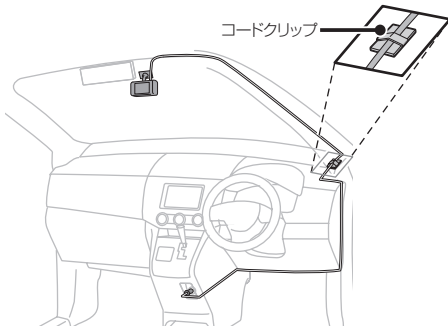


\* 必要に応じて、先にマウントベースを車両側に取り付けてから本体を設置してください。

## 配線処理

DCコードのプラグを車両のシガーライターソケットに接続してください。

コード類は運転の妨げとならないように、付属のコードクリップなどを利用して、配線処理してください。余分なコード類はビニールテープなどでしっかり束ねてください。コード類を表面に出したくない場合は、ガラスと内張りなどの隙間やパッキン類の隙間に入れます。

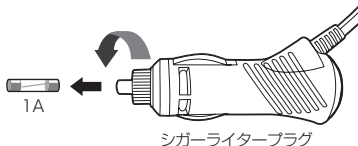


### ⚠ 注意

- 配線の際、エアバッグの内蔵されている内張りなどの周囲では、十分に注意して作業をおこなってください。また、エアバッグの内蔵されている部品などを外さないでください。必要な場合には、必ずカーディーラーの指示を受けてください。コードが可動部分に挟み込まれたり、無理に曲げたりしないように配線処理してください。
- コードを車のダッシュボードなどに固定した場合は、ダッシュボードなどの材質や使用環境により、コードの被覆がダッシュボードなどに色移りする場合があります。十分ご注意ください。

## ヒューズが切れた場合

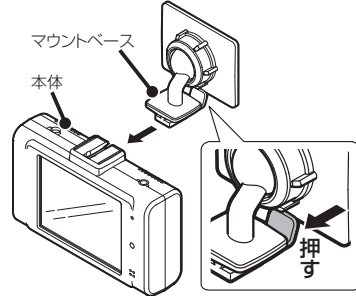
ヒューズ (1A) を交換します。



シガーライタープラグ

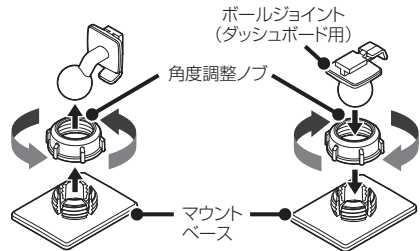
## マウントベースから本体を取り外す

マウントベースのツメ部を押し、本体を矢印の方向に引き外します。



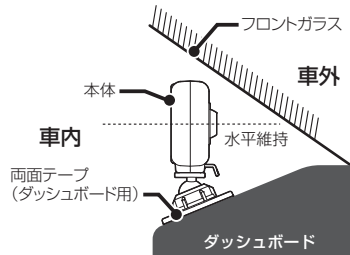
## ダッシュボードへの取り付け

マウントベースから角度調整ノブを外し、ボールジョイント (ダッシュボード用) に付け替えます。



- 先にボールジョイントを角度調整ノブに差し込み、マウントベースに取り付けてください。

図のように前方を遮ることがないように取り付けてください。



- 電源を入れると自動で画面が反転します。
- GPS信号を受信できる場所に取り付けてください。

# microSDカードの挿入および取り出し

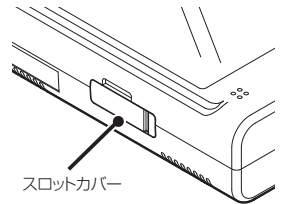
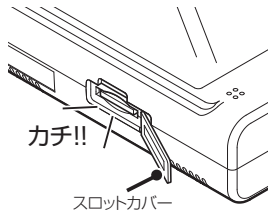
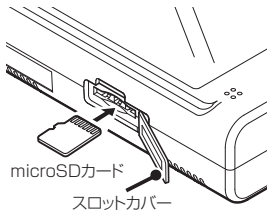
## ⚠ 注意

microSDカードを使う前に、次の内容を確認してご使用ください。

- microSDカードは、付属のmicroSDカードをご使用ください。指定以外のmicroSDカードを使用されると、データの損失や記録できない可能性があります。
- microSDカードを本体電源が入った状態で抜き差ししないでください。本機が正常に動作しない場合があります。
- microSDカードを取り出すときは、車のエンジンを止めて、必ず本体の動作LEDが消えたことを確認してください。その後microSDカードを取り出してください。動作LEDが点灯している状態でmicroSDカードを取り出すと録画を終了することができず、記録映像が中断されるか一部分が削除されるなど、場合によってはmicroSDカードが破損するおそれがあります。
- microSDカードをフォーマットする際は、必ず本体のフォーマット機能でおこなってください。
- 付属のmicroSDカードをフォーマットすると記録ファイルや専用ビューアソフトは全て消去されます。あらかじめパソコンなどにバックアップすることをおすすめします。
- 市販のmicroSDカードによっては認識しにくいものや、挿入、取り出しにくいものがあります。
- microSDカードの容量によっては、起動時間が変動（長くなったり）する場合があります。

## microSDカードの挿入

\* 必ず、本体の電源がOFFになっていることを確認してからおこなってください。



- 1 本体のスロットカバーをめくり、microSDカードの向きに注意してスロットに差し込む。
- 2 microSDカードがスロット内部に確実に差し込まれたことを確認する。
- 3 スロットカバーを閉じる。

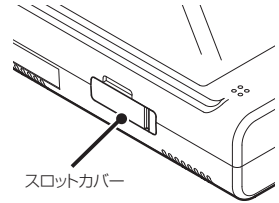
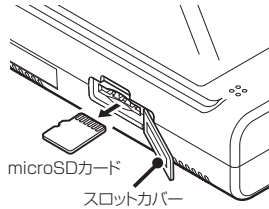
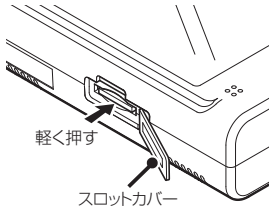
## ⚠ 注意

- microSDカードが挿入されていないと本機は動作しません。
- microSDカードには向きがあります。差し込む向きに注意して最後まで確実に挿入してください。正しく挿入されていないとmicroSDカードの破損、および誤動作の原因になります。
- microSDカードの接続端子には手を触れないでください。汚れや異物が付着するとカード内のデータが損失するおそれがあります。



## microSDカードの取り出し

\* 必ず、本体のLEDが消灯し、電源がOFFになっていることを確認してからおこなってください。



- 1 本体のスロットカバーをめくり、microSDカードを軽く押し込む。
- 2 microSDカードを取り出す。
- 3 microSDカードを取り出したあと、スロットカバーを閉じる。

はじめに

取り付けと  
準備

基本  
操作

各種  
設定

困ったときは

その他

アフター  
サービス

# 製品の使用方法



注意

製品を使用する前に次の内容を熟知してください。

- 車の運転中は本機の操作を絶対に行わないでください。
- 映像の記録は、microSDカードが正しく挿入されているときのみ可能です。
- 映像の記録中にmicroSDカードが取り出されると警告音となり、記録の映像の一部が削除される場合があります。
- 電源ONのあと、録画の開始まで時間がかかります。必ず録画が開始されたことを確認してからご使用ください。

## 電源のON/OFF

基本操作

CELLSTAR®

### ■ 電源のON

本機には電源ボタンがありません。電源を入れるには、DCコードが車両に繋がれている状態で車のエンジンをかけます。

電源が投入されると、LEDが点灯し、効果音が鳴りディスプレイにオープニング画面が流れたあと、カメラ映像が表示されます。

- \* ディスプレイに画面を表示させない場合は、設定メニューの「画面表示」をオフにしてください。(P23、24参照)
- \* 画像モード設定によりディスプレイに表示されるカメラ映像の解像度は異なります。
- \* 電源をONにした時に画面の向きを自動的に反転して調整します。

### ■ 電源のOFF

エンジンを停止させると最後の録画ファイルを安全に保存し、LEDが消灯し、効果音のあと電源が自動的にOFFになります。

## エラーメッセージ

SDカード認識エラー  
SDカードが「挿入されていない」  
「フォーマットされていない」  
「破損している」  
などの異常です。

### ■ microSDカード認識エラー

microSDカードが「挿入されていない」、「フォーマットされていない」、「破損している」などの異常が発生した場合は、LEDが消灯し、効果音が鳴り本機のディスプレイに次のようなエラーが表示されます。

- \* ディスプレイに「SDカード認識エラー」を表示した場合は、microSDカードを挿入し直し(P14、15参照)、またはフォーマットをおこなってください。(P31参照)

SDカードのファイルシステム、またはアロケーションサイズが違っています。  
フォーマットしますか？  
(フォーマットすればデータは全て消去されます)

実行

### ■ microSDカードファイルシステムエラー

microSDカードのファイルシステム、またはアロケーションサイズが違っている場合、本機のディスプレイに次のようなエラーが表示し、フォーマットの確認をおこないます。

カメラに異常があります。  
カスタマーサービスまで  
ご連絡ください。

## ■ カメラ異常エラー

カメラの初期化エラーなどが発生した場合は、LEDが消灯し、効果音が鳴り本機のディスプレイに次のようなエラーが表示されます。

\* ディスプレイに「カメラに異常があります」を表示した場合は、取り付け方法（P11～13参照）を確認してから、本機を再起動してください。

## ディスプレイ






本機が起動すると、次の画面を表示します。

操作ボタンを押して、設定メニューの変更または録画映像の再生ができます。

\* 再生する場合は「再生モード」（P28参照）、設定メニューの変更は「設定の変更方法」（P23～25参照）をご覧ください。



## ■ 画面アイコンの種類

アイコン	内容
① 録画モード 	録画モードの状態を表示します。
② GPS 	GPS を測位すると表示します。
③ 画像モード 	画像モード設定の状態を表示します。
④ 3G センサー感度 	感度センサーの設定状態を表示します。
⑤ 音声録音 	音声録音のオン / オフを表示します。

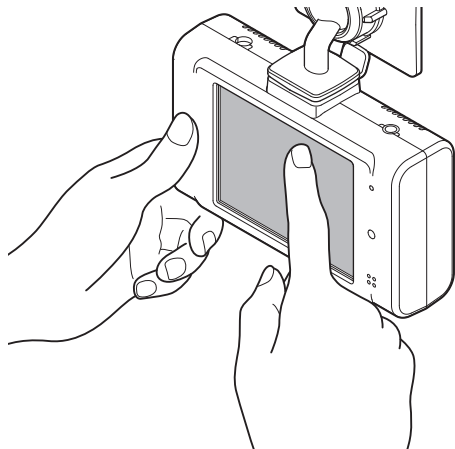
\* 設定メニューの「アイコン表示」をオフにすると非表示にできます。（P24参照）

\* インポーズ表示記録をオンにすると、映像の上に重ねて現在の日時情報、現在地の緯度経度、走行速度を表示、録画できます（P24参照）

\* インポーズ表示の内容はGPSの測位から算出するため、実際の数値と異なる場合があります。

## タッチパネルについて

本機の操作は、タッチパネルに直接触れて（タッチして）おこないます。操作する際は、本機を図のように片手で支え、画面に表示されたボタンを指先でタッチしてください。



### ⚠ 注意

- 市販の液晶保護シートやシールを貼ると、スムーズに動かなくなる場合があります。
- 片手で本機を支えながらタッチパネルを操作してください。本機の傾き方が変化するとGセンサーによって機能の一部に影響が出る場合があります。誤作動を起こした場合は、傾きを戻し電源を入れなおしてください。
- 操作の実行は、タッチパネルをタッチして指を離れたときに判定されます。またタッチした場所と指を離れた場所が大きく移動していた場合、正しく判定されない場合があります。
- 本機のタッチパネルは感圧式です。しっかりタッチして操作してください。また2箇所以上同時に押すと誤作動の原因となります。
- 本製品のタッチパネルは感圧式のため、タッチした際に、画面が沈んだような状態になりますが、正常動作です。

\* タッチパネルの反応にズレが発生した場合、キャリブレーション設定 (P32参照) にてタッチパネルを補正してください。

### ⚠ 注意

製品を使用する前に次の内容を熟知してください。

- 走行中は、本製品を絶対に操作しないでください。交通事故の原因となります。走行中は、必ず同乗者が操作をおこなうか、車両を停車してから操作をおこなってください。
- タッチパネルを強く押ししたり、先の尖ったもので押さないでください。タッチパネルが割れて、ケガや故障の原因となります。
- タッチパネルの汚れは市販の眼鏡拭きなどで乾拭きしてください。水、有機溶剤および酸・アルカリなどの薬品で表面を拭くと故障の原因となります。

# 録画方法

## 録画モードについて

本機が動作すると同時にLEDが点滅し、常時録画が自動的に開始します。

録画モードの状態は、画面のアイコンで確認できます。(P17参照)

\* 記録中の音声録音しない場合、「音声録音」をオフにしてください。(P24参照)

### 常時録画モードとイベント録画モード

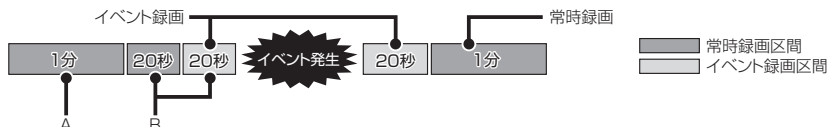
#### ■ 常時録画モード

LEDが点滅し、1分単位で録画し続けます。



#### ■ イベント録画モード

常時録画中にイベント（走行中の外部衝撃や事故）が発生した場合、常時録画を中断して、効果音とLEDの点滅（速い）し、イベント録画ファイル（1回最大2ファイル）を生成します。イベント録画モード後、常時録画モードに戻ります。



B区間の録画時間が20秒未満の場合、Aの常時録画（60秒）を含めた録画時間がイベント録画となります。

- \* イベントとは、衝撃を検知した場合という意味で使用しています。センサーが高感度に設定されている場合、細かな衝撃も検知します。センサー感度が低感度に設定されている場合、強い衝撃のみ検知します。「3Gセンサー感度(P24参照)」で調整することができます。
- \* 記録映像がmicroSDカードの容量を超えた場合、古い記録映像データから順次自動消去されます。
- \* 常時録画とイベント録画で生成されたファイルは指定のフォルダに保存されます。
- \* 常時録画（microSDカード総容量の70%）、イベント録画（microSDカード総容量の20%）で分割管理されています。
- \* 録画モードでイベント録画（手動による撮影も含む）をおこなっている最中は、ボタン操作を受け付けません。ボタン操作をおこなう場合は、常時録画中におこなってください。
- \* SDエラー監視機能によりエラーデータを削除した場合、削除した番号をスキップして映像ファイルに番号が付加されます。
- \* 録画中の状況により、録画のビットレートは可変します。

#### 例) microSDカードの保存先について

録画ファイル	保存フォルダ名	最大保存容量
常時録画ファイル	INFINITE	microSD カード総容量の 70% (最大容量を超えた場合、古いデータから順次自動消去されます)
イベント録画ファイル	EVENT	microSD カード総容量の 20% (最大容量を超えた場合、古いデータから順次自動消去されます)

## クイック録画機能（手動）

イベントを手動で録画するための機能です。記録映像はmicroSDカードの[EVENT]フォルダに保存されます。

- \* 「アイコン表示」をオンにしてください。（P24参照）
- \* V-OUT（ビデオ出力）がオン時または、画面表示がオフ時は動作しません。

### 1 本機の動作中に【クイック録画】をタッチする。

効果音とLED点滅（速い）し、イベント録画をおこないます。



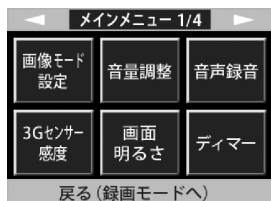
タッチ

## 撮影機能（手動）

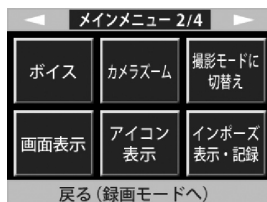
録画映像を手動で撮影するための機能です。撮影した画像（JPGファイル）はmicroSDカードの[CAPTURE]フォルダに保存されます。撮影した画像は100枚（約35MB）までです。

- \* 100枚を超えると古い画像から自動的に削除されます。

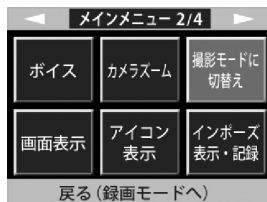
### 1 ディスプレイにタッチして、メインメニュー画面に切り替える。



### 2 メインメニュー画面上部の【◀▶】をタッチしてメインメニュー 2/4を表示させる。



### 3 【撮影モードに切替え】をタッチする。



### 4 【カメラアイコン】をタッチする。



カメラアイコン以外をタッチすると、撮影機能を終了します。

## パーキングモードについて

オプションの常時電源コード (GDO-05) を使用するとタイマー機能、電圧監視機能により、最大7時間本機に電源を供給します。

録画方式は常時録画 (1分単位連続)、常時録画+イベント録画から選択できます。

パーキングモードには、内蔵の3Gセンサーにより、10分以上振動が感知しない場合に作動します。(LEDが遅く点滅します。) \*感度は固定です。

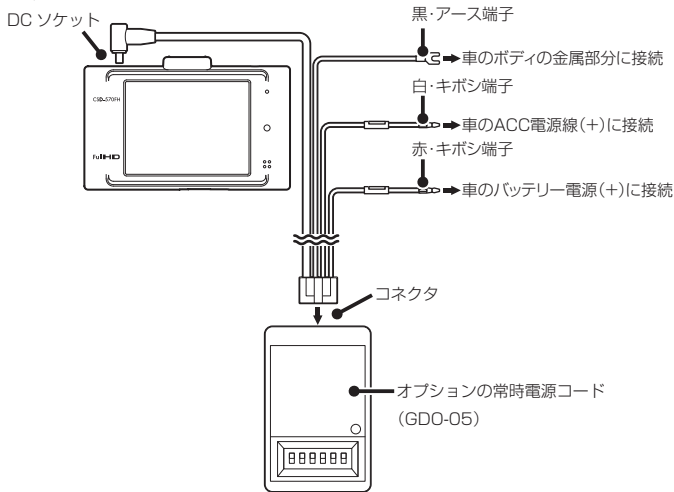
3秒以上連続した振動を感知した場合、パーキングモードを解除します。

パーキングモードを解除する振動の感度はパーキングモード感度にておこないます。(P25参照)

### 警告

- ・パーキングモードは、必ずオプションの常時電源コードを使用してください。直結配線用DCコードなどを接続し、直接電源を供給できる状態で設定すると、バッテリー上がりの原因となります。絶対におやめください。
- ・パーキングモードによる車のバッテリー上がりに関して当社は一切の責任を負いません。
- ・暗い場所など録画できない場合があります。
- ・パーキングモードの設定を「オフ」にして使用しないでください。バッテリー上がりの原因となります。
- ・パーキングモードは、周囲の状況、走行状況などにより、正常に動作しない場合があります。

### ■ 取り付け方法

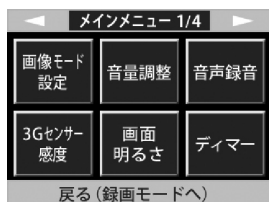


\* オプションの常時電源コード (GDO-05) に付属の取扱説明書をよく読み、正しく設定の上、ACCがOFFの時に接続してください。

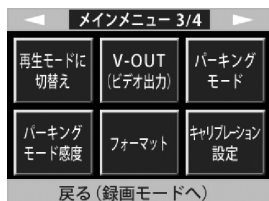
### パーキングモードの録画仕様について

画像	D1
画質	低
夜間補正	自動
明るさ	中
コントラスト	中
GPS	オフ

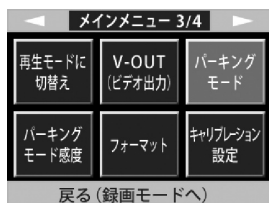
## 録画方法（つづき）



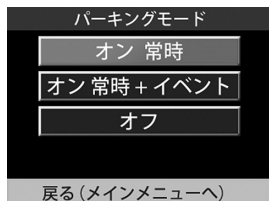
1 ディ스플레이にタッチして、メインメニュー画面に切り替える。



2 メインメニュー画面上部の【◀▶】をタッチして、メインメニュー 3/4を表示させる。



3 【パーキングモード】をタッチする。



4 録画モードを選択する。

\* 録画モードはP19参照。



パーキングモードがオンになると、画面に「P」のアイコンが表示されます。内蔵の3Gセンサーにより、10分以上振動が感知しない場合、画面が消え、LEDが遅く点滅し、パーキングモードの動作となります。

\* パーキングモードのバッテリー電源供給時間は、常時電源コード（GDO-05）のディップスイッチの設定で動作します。詳しくは、オプションの常時電源コードに付属の取扱説明書をお読みください。

\* パーキングモードの動作中は、V-OUT（ビデオ出力）はオフになります。



# 各種設定の変更

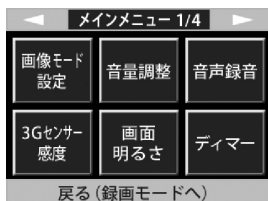
## 設定の変更方法（例：アイコン表示）

24～26ページの各設定メニューを変更する場合は、以下の手順でおこないます。

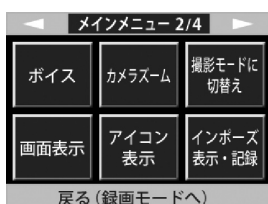
専用ビューアソフトで本体の設定も可能です。詳しくは、付属のmicroSDカードに収録している専用ビューアソフトの説明書をご覧ください。

\* 設定中は、録画はできません。

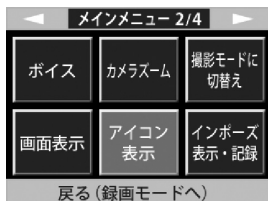
\* 設定メニュー画面にて1分以上操作がない場合は、自動的に録画モードに切り替わります。



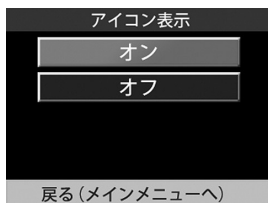
1 ディスプレイにタッチして、メインメニュー画面に切り替える。



2 メインメニュー画面上部の【◀▶】をタッチして、変更する設定メニューを選ぶ。



3 変更したい設定項目を選択（タッチ）し、設定内容を切り替える。  
設定項目が多い場合は、画面右側の【▲▼】をタッチし、項目をスクロールさせます。



4 引き続き他の設定を変更する場合は、画面下部の【戻る（メインメニューへ）】をタッチしてメインメニューに戻り、メインメニュー画面上部の【◀▶】をタッチして、設定メニューを選ぶ。

設定を終了してメインメニュー画面または通常画面に戻る場合は、画面下部の【戻る（メインメニュー）】または【戻る（録画モードへ）】をタッチします。

## 設定一覧

\* 設定値は初期設定のものです。

メインメニュー	設定値	設定内容
		<b>カスタム</b> : 録画画質などの設定をお好みで設定できます。(P26 参照) 設定方法は、27 ページを参照してください。
画像モード設定	高画質	標準 : 録画画質を標準的な設定にします。 夜間 : 録画画質を夜間録画に適した設定にします。 高画質 : 録画画質を高画質に適した設定にします。 長時間 : 録画画質を長時間録画に適した設定にします。
音量調整	2	3 : 音量を (大) にします。 2 : 音量を (中) にします。 1 : 音量を (小) にします。 0 : 音量を (無) にします。
音声録音	オン	オン : 音声録音をおこないます。 オフ : 音声録音をおこないません。
3G センサー感度	5	0 : 3G センサーを低感度に設定します。 1 2 3 4 5 6 7 8 9 : 3G センサーを高感度に設定します。
画面明るさ	3	4 : ディスプレイの輝度を最大にします。 3 2 1 : ディスプレイの輝度を最小にします。
ディマー	オン	オン : ディマー機能を設定します。 オフ : ディマー機能を設定しません。
ボイス	オン	オン : 音声案内をおこないます。 オフ : 音声案内をおこないません。
カメラズーム	オフ	オフ : 1 : 1 で録画します。 2 倍 : 2 倍拡大で録画します。 4 倍 : 4 倍拡大で録画します。
撮影モードに切替え	—	撮影機能の操作方法は、20 ページを参照してください。
画面表示	オン	オン : LCD バックライトを点灯します。 オフ : LCD バックライトを点灯しません。
アイコン表示	オン	オン : ディスプレイにアイコンを表示します。 オフ : ディスプレイにアイコンを表示しません。
インポーズ表示・記録	オン	オン : 録画映像の画面に日付情報、現在地の緯度経度、走行速度を表示および記録します。 オフ : 録画映像の画面に日付情報、現在地の緯度経度、走行速度を表示および記録しません。
再生モードへ切替え	—	再生モードの操作方法は、28 ページを参照してください。

## 設定一覧（つづき）

\* 設定値は初期設定のものです。

メインメニュー	設定値	設定内容
V-OUT (ビデオ出力)	オフ	オン : 外部モニターに録画中の映像を出力します。 オフ : 外部モニターに録画中の映像を出力しません。 * 外部モニターなどへの接続方法は、29ページを参照してください。
パーキングモード	オフ	常時 : 常時録画（1分単位）します。 常時+イベント : 常時+イベント録画します。 オフ : パーキングモードをおこないません。
パーキングモード感度	5	0 : パーキングモードを解除する3Gセンサーを低感度に設定します。 1 2 3 4 5 6 7 8 9 : パーキングモードを解除する3Gセンサーを高感度に設定します。
フォーマット	—	フォーマットの操作方法は、31ページを参照してください。
キャリブレーション設定	—	キャリブレーション設定の操作方法は、32ページを参照してください。
位置情報取得	オン	オン : GPSから位置情報を取得し記録、表示します。 オフ : GPSから位置情報を取得しません。

- \* ディマーを「オン」にすると、4月～10月は18:00～5:00、11月～3月は17:00～6:00にディスプレイを暗くします。
- \* 画面表示を「オフ」、V-OUTを「オン」に設定した後、V-OUT（ビデオ出力）を「オフ」にすると画面表示が「オン」になります。
- \* 位置情報取得を「オフ」にするとインポーズ表示・記録は、日時情報、走行速度のみとなります。

はじめに

取り付けと  
準備

基本操作

各種設定

困ったときは

その他

アフター  
サービス

## 画像モード設定「カスタム」時、設定内容一覧

設定内容をお好みで変更できます。

\* 設定値は初期設定のものです。

カスタム	設定値	設定内容
画像	FHD	FHD : 録画画像を FullHD (1920 × 1080) サイズに設定します。 HD : 録画画像を HD (1280 × 720) サイズに設定します。 D1 : 録画画像を D1 (720 × 480) サイズに設定します。
画質	高	高 : 録画画質を高画質に設定します。 標準 : 録画画質を標準画質に設定します。 低 : 録画画質を低画質に設定します。
夜間補正	オフ	オン : 録画画像を夜間に適した画質に設定します。 オフ : 夜間補正をおこないません。 自動 : 自動で夜間補正をおこないます。 * 要日時設定。
明るさ	中	明 : 録画画像の輝度を最大（明るく）に設定します。 中 : 録画画像の輝度を標準に設定します。 暗 : 録画画像の輝度を最小（暗く）に設定します。
コントラスト	中	高 : 録画画像のコントラストを最大に設定します。 中 : 録画画像のコントラストを標準に設定します。 低 : 録画画像のコントラストを最小に設定します。

\* **【戻る】** をタッチすると1つ前のメニューに戻ります。

## 画像モード設定「標準/夜間/高画質/長時間」時、設定内容一覧

設定内容は変更できません。

設定内容	画像モード設定			
	標準	夜間	高画質	長時間
画像	HD	HD	FHD	D1
画質	標準	標準	高	低
夜間補正	オフ	オン	オフ	オフ
明るさ	中	明	中	中
コントラスト	中	高	中	中

## 画像モード設定

画像モード設定では、録画画像の画質や画像サイズなど細かな設定を各モードにあわせた最適な内容に設定してあります。走行時の状況やお好みにあわせて変更することができます。

\* 設定中は、録画できません。

### ⚠ 注意

- 映像の明るさを一定に保つ機能によりトンネルのように明るいところから暗いところへ移動した場合、映像の明るさが変化し、録画されることがあります。
- 夜間補正が動作している場合、明るさの感度が高くなり、映像にノイズが入っているように録画されることがあります。

**1** 本機の画面をタッチして、メインメニュー画面に切り替える。



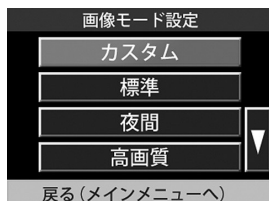
**2** 【画像モード設定】をタッチして選びます。  
「画像モード設定」画面に切り替わります。

【戻る (メインメニューへ)】: 「メインメニュー」画面に戻る

**3** 設定したい設定モードを選択 (タッチ) します。

「標準/夜間/高画質/長時間」を選んだ場合は、手順終了です。  
「カスタム」を選んだ場合は、手順4へ。

【戻る】: 「画像モード設定」画面に戻る



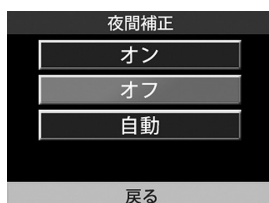
**4** 設定したい設定項目を選択 (タッチ) します。(例: 夜間補正)

【戻る】: 「カスタム」画面に戻る



**5** 変更する設定内容を選択 (タッチ) します。(例: オフ)

【戻る】: 「カスタム」画面に戻る



**6** 引き続き他の設定項目を変更する場合は、手順4から手順5の操作をおこなってください。

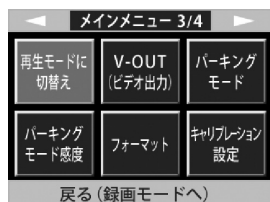
# その他の機能

## 再生モード

録画した記録映像を本機のディスプレイで再生することができます。

- \* 再生モード中は、録画できません。
- \* 外部モニターなどで再生することはできません。必ず、V-OUT（ビデオ出力）をオフにしてください。

1 本機の画面をタッチして、メインメニュー画面に切り替える。

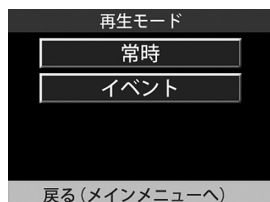


2 メインメニュー画面上部の【◀▶】をタッチしてメインメニュー3/4を表示させる。

3 【再生モードに切替え】を選択（タッチ）する。「再生モード」画面に切り替わります。

4 【常時】または【イベント】を選択（タッチ）する。「再生ファイル」画面に切り替わります。

【戻る】：「再生モード」画面に戻る



5 ファイルを選択（タッチ）する。

本機のディスプレイで再生が開始されます。再生ファイルが多い場合は、画面右側の【▲▼】をタッチし、ページをスクロールさせます。

再生中に画面をタッチ：「再生ファイル」画面に戻る

- \* ファイルは、記録された時間の順に表示されます。
- \* 再生ファイルは、常時録画で1分です。
- \* 再生中に画面をタッチするとファイル選択画面に戻ります。
- \* ファイル名は実際の製品と異なります。



## 外部モニター表示

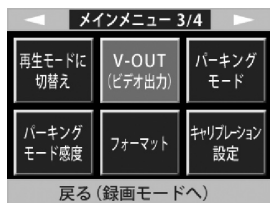
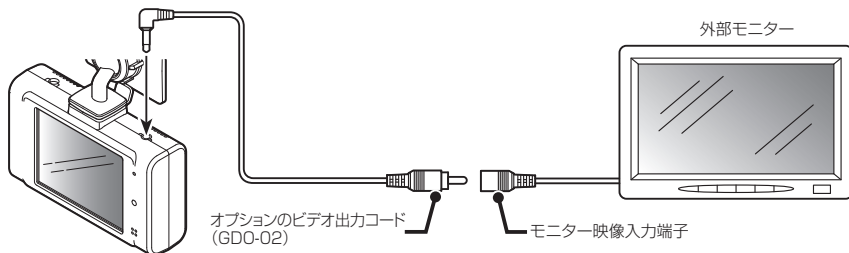
オプションのビデオ出力コード（GDO-02）や当社製レーザー探知機接続ケーブル（GDO-03/GDO-04）を外部モニター、または当社製レーザー探知機に接続するとディスプレイの映像を外部のモニターに表示することができます。（映像のみ、音声は出力されません）

### ⚠ 注意

・外部モニターなどに本機で記録した映像を再生することはできません。必ず本機のディスプレイにて再生をおこなってください。

## 1 本機の画面をタッチして、メインメニュー画面に切り替える。

### ■ 外部モニターとの接続



## 2 本機の画面をタッチして、メインメニュー画面に切り替え、画面上部の【◀▶】をタッチしてメインメニュー 3/4を表示させる。

## 3 【V-OUT (ビデオ出力)】を選択（タッチ）する。

はじめに

取り付けと準備

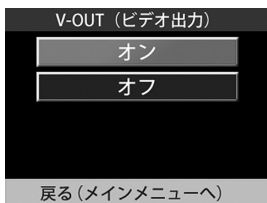
基本操作

各種設定

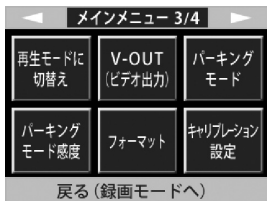
困ったときは

その他

アフターサービス



- 4 **【オン】** を選択（タッチ）する。  
**【戻る (メインメニューへ)】** : 「メインメニュー」画面に戻る



- 5 **【戻る (録画モードへ)】** を選択（タッチ）する。  
確定後、ディスプレイがオフになります。

- \* V-OUT（ビデオ出力）がオン時はクイック録画は使用できません。
- \* ディスプレイに戻す場合は、ディスプレイをタッチしてください。オプションのビデオ出力コード（GDO-02）や当社製レーザー探知機接続ケーブル（GDO-03/GDO-04）を外しても自動で切り替わりません。
- \* 必ずオプションのビデオ出力コード（GDO-02）、または当社製レーザー探知機接続ケーブル（GDO-03/GDO-04）をご使用ください。他のコードを使用すると映像が正しく表示されない、または誤動作を起こす場合があります。
- \* モニターの種類によっては端子の形状が異なる場合があります。

## GPS測位について

GPSを利用した機能を使用するために、GPSの測位確定が必要となります。本機の電源が入ると、自動的にGPS測位がはじまります。GPSを測位するとGPSアイコンが表示されます。（P17参照）

### ✓ CHECK

#### お買い求めいただいて、初めてお使いになる場合

- GPS測位が確定するまでに時間がかかる場合があります（15分程度）これは製品不良や故障などではありません。あらかじめご了承ください。GPS測位に20分以上かかる場合は、電源を入れなおしてください。
- トンネル内、高架下、ビルの谷間、森林の中や高圧電線、高出力無線の近くなどではGPSを測位しにくくなる場合があります。
- GPS機能を使用するには、GPS測位中に限られます。

### 超速GPSについて

自車位置を素早く約10秒でGPSを測位するので、ドライブをスムーズにスタートします。

### ✓ CHECK

- GPS衛星を受信しにくい条件の場合、時間がかかる場合があります。
- 前回のGPS受信から72時間を経過すると超速GPSは機能しません。その他、様々な条件により機能しない場合があります。
- 最後に電源をOFFにしてから直線距離で300km以上離れた地点で電源をONにした場合、最後に電源をOFFにして次に電源をONしたときにGPS衛星の状態が異なる場合は、動作に時間がかかる場合があります。

### 業界最多の対応衛星

GPS、グロナス衛星、準天頂衛星みちびき、SBAS（ひまわり、GAGAN）5種類59基の衛星を受信可能。

- \* 同時受信可能な衛星は最大32基に加え、SBASの最大2基を補足利用します。

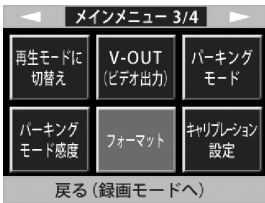


# フォーマット

## ⚠ 注意

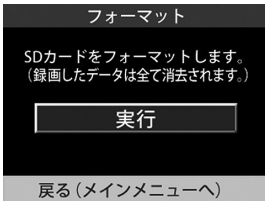
- この機能を使用すると、録画したデータはすべて消去されます。必要に応じて記録データのバックアップをおこなってください。
- microSDカード内の録画したデータが破損した際、製品本体で異常状態を確認できない場合があります。定期的（1週間に1回を推奨）にmicroSDカードをフォーマットしてください。
- フォーマットは必ず本体にておこない、本体以外でのフォーマットは絶対におこなわないでください。

1 本機の画面をタッチして、メインメニュー画面に切り替える。

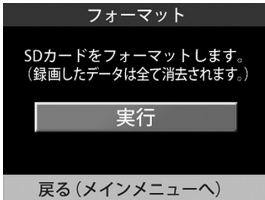


2 メインメニュー画面上部の【◀▶】をタッチしてメインメニュー3/4を表示させる。

3 【フォーマット】を選択（タッチ）する。



4 【実行】にタッチする。  
【戻る (メインメニューへ)】: 「メインメニュー」画面に戻る



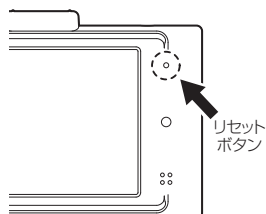
5 【実行】にタッチする。  
【戻る】: 「フォーマット」画面に戻る



ディスプレイには「フォーマット実行中」と表示します。  
フォーマット完了後、自動的に再起動をおこない、録画モードが開始されます。

## システムリセット

本機が誤動作したり、止まってしまった場合、システムリセットをおこなってください。



- 1 ピンなどを使用してリセットボタンを押す。  
本機がリセットされます。

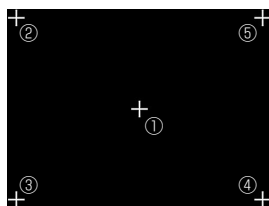
## キャリブレーション設定

タッチパネルの反応にズレが発生した場合、キャリブレーション設定にてタッチパネルを補正してください。

- 1 本機の画面をタッチして、メインメニュー画面に切り替える。
- 2 メインメニュー画面上部の【◀▶】をタッチしてメインメニュー3/4を表示させる。
- 3 【キャリブレーション設定】を選択（タッチ）する。



- 4 ①～⑤まで順番で十字（+）表示の真ん中をタッチする。  
選択が完了すると、キャリブレーションを終了し、メインメニューへ切り替わります。



### タッチパネルの補正に失敗した場合

タッチ補正に失敗しました。  
もう一度、正確に画面の「+」表示を押してください。

左のエラー画面が表示されます。  
再度、キャリブレーション設定をおこなってください。

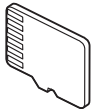
## ドライブレコーダー専用ビューアソフトについて

本機で録画した映像の記録データの確認や本機の設定をパソコンでおこなうことができます。

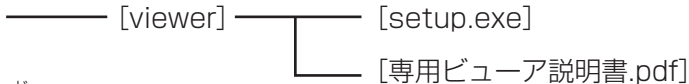
### 専用ビューアソフトの動作環境

- CPU： Pentium 4 以上
- OS： Windows Vista / 7 / 8 以上
- メモリ： 1GB 以上
- HDD： 4GB 以上
- GPU： Direct X 9.0c 以上に対応するGPU

専用ビューアソフトと専用ビューアソフトの説明書は、付属のmicroSDカードに格納しています。



付属の microSD カード



専用ビューアソフトの使い方は、「専用ビューア説明書.pdf」をご覧ください。  
「setup.exe」を起動すると専用ビューアソフトのインストーラーが起動します。  
専用ビューア説明書の手順にしたがってインストールしてください。

専用ビューアソフトと専用ビューア説明書は、弊社ホームページの製品ページからもダウンロードできます。  
<http://www.cellstar.co.jp/products/recorder/>

はじめに

取り付けと  
準備

基本操作

各種設定

困ったときは

その他

アフター  
サービス

# 故障かな？と思ったら

修理をご依頼される前に、もう一度次のことをご確認ください。

症状	考えられる原因	参照
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> <li>DCコードは、シガーライターソケットに接続されていますか。</li> <li>本機のDCジャックとDCコードは接続されていますか。</li> <li>シガーライター用DCコードのヒューズが切れていませんか。</li> </ul>	P10、P13
	<ul style="list-style-type: none"> <li>シガーライターソケットにタバコくずが付着していませんか。付着している場合は、タバコくずなどをきれいに拭きとってください。</li> </ul>	—
起動時間が長い	<ul style="list-style-type: none"> <li>microSDカードの容量によっては起動時間が長くなることがあります。</li> </ul>	P6
	<ul style="list-style-type: none"> <li>microSDカードは正しく挿入されていますか。</li> <li>* microSD カードが挿入されていないと本機は動作しません。</li> </ul>	P14
録画が開始されない	<ul style="list-style-type: none"> <li>microSDカードは正しく挿入されていますか。</li> <li>* microSD カードに異常がある場合もエラーとなり録画が開始されません。その場合は、microSD カードを取り換えてご使用ください。その際は指定の microSD カードをご使用ください。</li> </ul>	P6 P14-P15
	<ul style="list-style-type: none"> <li>microSDカード内の記録ファイルが破損した可能性があります。</li> <li>* microSD カードをフォーマットしてください。</li> </ul>	P31
急ブレーキや急加速のときでも、データが保護されない。または直ぐに反応してしまう	<ul style="list-style-type: none"> <li>「3Gセンサー感度」を調整してください。</li> <li>* 使用状況に合わせて、この設定を調整することをお勧めします。</li> </ul>	P24
ひんぱんにイベント録画されるまたは録画されない	<ul style="list-style-type: none"> <li>「3Gセンサー感度」を調整してください。</li> <li>* 使用状況に合わせて、この設定を調整することをお勧めします。</li> </ul>	P24
映像にノイズが入って録画される	<ul style="list-style-type: none"> <li>夜間モードまたは夜間補正をおこなっていませんか。明るさの感度が高くなり、ノイズが入っているように録画されることがあります。</li> </ul>	P24-P26
昼間の映像が白っぽく録画される	<ul style="list-style-type: none"> <li>夜間モードまたは夜間補正をおこなっていませんか。明るさの感度が高くなり、白っぽく録画されることがあります。</li> </ul>	P24-P26
画面を表示しない	<ul style="list-style-type: none"> <li>外部モニター表示(V-OUT)になっていませんか。画面をタッチしつづけば、本機のディスプレイに戻してください。</li> </ul>	P29
再起動する	<ul style="list-style-type: none"> <li>本機に異常があった場合、連続動作するために自動的に再起動し復帰しますが、異常動作ではありません。</li> </ul>	—
欠落した番号の映像ファイルがある	<ul style="list-style-type: none"> <li>SDエラー監視機能によりエラーデータを削除した場合、エラーデータの番号をスキップして映像ファイルに番号を付加します。</li> </ul>	P19
録画したデータと実際の走行状況が違う	<ul style="list-style-type: none"> <li>日時、車両の走行速度、位置情報は、GPSの測位から算出するため、実際の数値と異なる場合があります。</li> </ul>	—

# 製品の仕様

## ■CSD-570FHの仕様

車外撮影用 カメラ	撮像素子	500万画素 CMOSカメラ
	フレームレート	30fps
	視野角	水平 110°、垂直 64°、対角 140°
	F 値	2
	最低被写体照度	5LUX
録画画素数		200万画素 (FullHD) / 100万画素 (HD) / 35万画素 (D1)
録画画質	FullHD	高画質 (12Mbps) / 標準 (10Mbps) / 低画質 (8Mbps)
	HD	高画質 (7Mbps) / 標準 (5Mbps) / 低画質 (3Mbps)
	D1	高画質 (2Mbps) / 標準 (1.5Mbps) / 低画質 (1Mbps)
録画画角	FullHD	水平 102°、垂直 62°、対角 120°
	HD	水平 102°、垂直 62°、対角 120°
	D1	水平 76°、垂直 55°、対角 94°
録画圧縮		録画 AVI (H.264)、静止画 JPG
録画トリガ		常時録画 / 常時録画+イベント録画 / クイック録画
GPS		有り
3G センサー		有り (-2G から +2G 衝撃感度 10段階)
対応外部記憶媒体		microSD カード 8GB ~ 32GB (クラス 10/SDHC 規格準拠、NAND タイプは「MLC」を推奨) 64GB (クラス 10/SDXC 規格準拠、UHS スピードクラス: UHS-1 以上、NAND タイプは「MLC」を推奨)
記録データ		日時、加速度、走行速度、位置情報、映像ファイル
音声録音		有り (オン、オフ設定可)
外部映像出力		有り (付属ディスプレイか外部かどちらか一方のみ) *再生時無し
電源電圧		DC12V/24V
動作温度範囲		-10℃ ~ +60℃
サイズ		85 (W) × 22.6 (D) × 51 (H) mm (突起部含まず) *マウントベース取り付け時 84 (H) mm
本体重量		82g

\* 「ドライブレコーダー協議会ガイドライン」に基づく表記。

\* 録画の条件により、録画のフレームレートやビットレートが変わる場合があります。

はじめに

取り付けと  
準備

基本操作

各種設定

困ったときは

その他

サブタイ  
ス

■撮影可能時間の目安

常時録画 / microSD カードの容量		録画品質		
		高画質	標準	低画質
8GB	FullHD	約 55 分	約 70 分	約 85 分
	HD	約 100 分	約 140 分	約 235 分
	D1	約 355 分	約 485 分	約 715 分
16GB	FullHD	約 115 分	約 140 分	約 175 分
	HD	約 200 分	約 280 分	約 470 分
	D1	約 710 分	約 945 分	約 1420 分
32GB	FullHD	約 235 分	約 280 分	約 355 分
	HD	約 405 分	約 565 分	約 945 分
	D1	約 1420 分	約 1895 分	約 2845 分
64GB	FullHD	約 480 分	約 575 分	約 720 分
	HD	約 820 分	約 1150 分	約 1920 分
	D1	約 2880 分	約 3840 分	約 5760 分

イベント録画 / microSD カードの容量		録画品質		
		高画質	標準	低画質
8GB	FullHD	約 15 分	約 20 分	約 25 分
	HD	約 25 分	約 40 分	約 65 分
	D1	約 100 分	約 135 分	約 205 分
16GB	FullHD	約 30 分	約 40 分	約 50 分
	HD	約 55 分	約 80 分	約 135 分
	D1	約 200 分	約 270 分	約 405 分
32GB	FullHD	約 65 分	約 80 分	約 100 分
	HD	約 115 分	約 160 分	約 270 分
	D1	約 405 分	約 540 分	約 810 分
64GB	FullHD	約 135 分	約 160 分	約 205 分
	HD	約 235 分	約 325 分	約 545 分
	D1	約 820 分	約 1095 分	約 1645 分

撮影の状況、被写体などにより記録されるファイルサイズは一定でないため、記録可能時間に差が生じる場合があります。上記は、あくまでも目安となります。

# microSDカードのデータについて

## ■データ保存について

- イベント録画フォルダ (EVENT)  
イベントが発生した動画および音声 (1回最大2ファイル)、クイック録画機能で録画した動画を保存します。  
(microSDカード全体容量の20%を使用)
- 常時録画フォルダ (INFINITE)  
常時録画された1分間の動画および音声を保存します。(microSDカード全体容量の70%を使用)
- 撮影フォルダ (CAPTURE)  
キャプチャーした画像を保存します。100枚 (約35MB)

## ■その他のファイルについて

- \_system.cfg  
PC Viewerの環境設定を\_system.cfgファイル形式でmicroSDカードに保存し、本機は初期起動時にこの設定情報を読み込み適用します。  
\_system.cfgファイルがない場合は、基本設定を適用します。
- timeset.txt  
任意時間 (RTC) を保存します。

## ■SDエラー監視機能について

録画実行中にSDエラーが発生するかを監視して、記録時にSDエラーをキャッチすると再起動後、自動的にエラーデータを削除します。

- \* SDエラー監視機能でもファイルシステムを修復できない場合があります。定期的(1週間に1回を推奨)にmicroSDカードをフォーマットしてください。

はじめに

取り付けと  
準備

基本操作

各種設定

困ったときは

その他

サブ  
ピタ  
ー

# アフターサービスについて

## 修理に関して

### ■ 修理に必要なもの

- 取扱説明書（保証書欄、修理受付票記入）
- 修理する製品

### ■ 保証書と修理受付票のご記入に関して

#### 保証期間中

本書裏表紙の保証書と修理受付票（P39参照）に必要な事項をご記入の上、製品に添付して修理受付窓口までお送りください。保証書の規定にしたがって無料で修理および調整させていただきます。

- \* ご注意：保証期間中であっても有償修理となる場合がございますので保証規定をよくお読みください。保証書の所定事項（製品名、お買い上げ日、販売店名など）に記入がない場合は、有償修理となります。保証期間中であっても、部品入手不可能により修理ができなくなる場合があります。

#### 保証期間が過ぎてるとき

修理受付票（P39参照）に必要な事項をご記入の上、製品に添付して修理受付窓口までお送りください。

### ■ 修理受付票に関して

修理受付票は、以下の方法でも入手できます。

#### 郵送をご希望のおお客様

カスタマーサービスまでお問い合わせください。  
フリーダイヤル：0120-75-6867  
（携帯電話・PHSからは、046-275-6867）

#### FAXをご希望のおお客様

FAXサービスまでお問い合わせください。  
FAX：046-275-1171（音声ガイダンス）データ番号051で24時間FAXにてお取り出しできます。

#### ダウンロードをご希望のおお客様

インターネットブラウザより以下のアドレスにアクセスしてください。

（修理受付票PDFダウンロード：48KB）  
[http://www.cellstar.co.jp/products/customer/repair\\_card.pdf](http://www.cellstar.co.jp/products/customer/repair_card.pdf)

### ■ 修理をご依頼される前に

- 1 故障かな？と思ったら（P34参照）を参考に故障かどうかをご確認ください。
- 2 弊社ホームページ「お客様サポート」－「よくあるご質問（FAQ）」をご確認ください。

### 3 弊社ホームページに修理金額の目安が記載されています。事前にご確認ください。

[http://www.cellstar.co.jp/customer/repair\\_price.pdf](http://www.cellstar.co.jp/customer/repair_price.pdf)

- \* ご依頼内容の確認のため、記入後必ずコピーを取りお客様控えとしてお手元に保管してください。
- \* セルスター工業アフターサービスへ修理品をご送付いただく際、迅速かつ適切な修理をおこなうため、本書裏表紙の保証書と修理受付票（P39参照）に必要な事項をご記入の上、製品に添付してください。
- \* 修理品などをお送りいただく際の送料に関しては、お客様負担となります。あらかじめご了承ください。
- \* 名称、所在地、電話番号は変更される場合があります。ご確認ください。

### ■ 修理の流れ

#### 1 ご不明な点は、弊社カスタマーサービスにご連絡ください。



0120-75-6867（無料）

【受付時間】 9：00～17：30

フリーダイヤル

（土・日・祝日および、弊社休業日を除く）

携帯電話・PHS・IP電話などフリーダイヤルがご利用になれない場合：046-275-6867

- \* 修理する製品、保証書をお手元にご用意の上でおかけになるとスムーズにご相談いただけます。

#### 2 修理品の送付先 セルスター工業 アフターサービス 〒518-1145

三重県伊賀市安場字東赤坂 1608-5  
TEL. 0120-75-6867

#### お客様へのお願い

- \* 修理・点検作業の際、本機は工場出荷状態に戻ります。お客様が設定した内容や、記録した位置データなどはすべて消去されます。あらかじめご了承ください。
- \* 保証期間の有無に関わらず、送料はお客様のご負担となります。あらかじめご了承ください。
- \* 運送中の衝撃などに耐えられるよう、梱包をお願いします。
- \* 運送中の破損紛失などについては、弊社では一切の責任を負いません。
- \* 有償修理作業完了後、代金引換便にてご返送させていただきます。（処分依頼はお受けいたしませんので、ご返却させていただきます）

#### 個人情報の利用目的について

本機に対するお問い合わせや修理をご依頼される場合の個人情報は次の目的のみ利用されます。

- ① 当社製品・サービスに関するお問い合わせ、ご相談、修理などに対応するため。
- ② 製品の企画、開発、販売促進、営業活動にお客様のご要望を反映させるため、および満足度向上などの検討に必要な参考資料とするため。



## 修理受付票

製品名：CSD-570FH

ご依頼される前に必ず取扱説明書（本書）をお読みいただき、修理受付票と、裏表紙の保証書にご記入の上、修理依頼品と一緒に添付してお送りください。

### お客様ご記入欄

お客様名：	ご住所：□□□□-□□□□□□
ご自宅電話番号：	
FAX番号：	
日中で連絡可能な電話番号：	<input type="checkbox"/> 携帯電話 <input type="checkbox"/> ご勤務先 <input type="checkbox"/> その他（ ）
ご購入日：	microSDカードのデータ等の消失に関する同意確認
同梱した付属品：合計（ ）点	・お預かりした製品に付属のmicroSDカードのデータは、弊社でバックアップをおこないません。修理の内容によってmicroSDカードを初期化することがあります。いかなる場合でもデータの補償いたしません。ご了承ください。 ※本項のご署名が無い場合、修理をせずにご返却させていただきます。
①	本項の内容について同意します。 ご署名
②	お見積り連絡： <input type="checkbox"/> 不要 / <input type="checkbox"/> 必要（ ）円以上の修理の場合に連絡
③	※不要を選択の場合、お見積り金額はいたしません。なお、お見積り金額に関わらず、修理させていただきます。
④	具体的な症状： <input type="checkbox"/> 常に発生する <input type="checkbox"/> 時々発生する <input type="checkbox"/> 特定の条件で発生する
⑤	できるだけ詳しくご記入ください。
⑥	.....
⑦	.....
⑧	.....
修理品返却先	※上記住所以外への返却の場合にご記入ください。
お客様名：	ご住所：
ご自宅電話番号：	

# 保証書

保証書は、必ず「販売店名・お買い上げ年月日」などの記入をご確認のうえお受け取りになり、保証内容を良くお読みのと、大切に保管してください。

本証は、弊社の厳密な検査のもと生産、出荷されたものであることを証明し、本証の保証期間内に正常な使用状態において故障した場合には、本証記載内容のとおり無料で修理および調整をおこなうことをお約束するものです。修理をご依頼する際には修理受付票（P39参照）も併せてご記入ください。

製品名：CSD-570FH	お買い上げ年月日： 年 月 日
販売店様 ※必ず、ご記入ください。	保証期間 <b>3年</b> お買い上げ 年月日から 3年間有効
ご住所：	
お電話：	

以下の場合には保証の対象外となります。

- ①本製品に付属の取扱説明書に記載された使用方法や注意事項に反した取扱によって生じた故障・破損
- ②誤用・乱用および取扱不注意による故障
- ③火災・地震・風水害・落雷・その他天災地変や公害・塩害・水掛かり・異常電圧による故障
- ④不当な修理に起因する故障や、分解・改造の痕跡がみられる故障
- ⑤使用中に生じた傷など外觀上の変化
- ⑥保存状態が適切でなかった場合
- ⑦業務目的でご使用になった場合
- ⑧バッテリー・ディスプレイ・microSDカードなど消耗品および付属品の交換
- ⑨本証の提示がない場合
- ⑩本証の所定事項（お買い上げ日、販売店名など）に記入がない場合

- ・取付不良、接続不良、不適切な使用状態による車の故障や事故などの附随的損害の補償については一切この責任を負いません。あらかじめご了承ください。
- ・本証は日本国内においてのみ有効です。また本証の再発行はいたしませんので大切に保管ください。

## 修理・点検をご依頼される際の注意事項

設定の記憶やお客様が情報を登録できる製品につきまして、修理・点検作業の際、本製品は工場出荷状態に戻ります。お客様が設定した内容や、記録した位置データなどはすべて消去されます。あらかじめご了承ください。

販売店様へのお願ひ 保証書欄にお買い上げ年月日、店名、ご住所、お電話番号をご記入の上、お客様へお渡しください。

## お客様相談窓口

### ■電話でのお問い合わせ



0120-75-6867（無料）

【受付時間】 9:00～17:30

（土・日・祝日および、弊社休業日を除く）

携帯電話・PHS・IP電話などフリーダイヤルが

ご利用になれない場合：046-275-6867

### ■メールでのお問い合わせ

お問い合わせフォームより質問を送信してください。

<https://www.cellstar.co.jp/inquiry/mail.html>

※ご返答までに1週間程度のお時間をいただく場合があります。

### ■セルスター工業株式会社 カスタマーサービス

〒242-0002 神奈川県大和市つきみ野7-17-32

## 各拠点一覧

- 北海道地区 北海道セルスター工業株式会社  
〒004-0843 札幌市清田区清田三条 1-3-1  
TEL.011-882-1225（代）/ FAX.011-881-7251
- 東北地区 セルスター工業（株）仙台営業所  
〒981-3117 宮城県仙台市泉区市名坂字原田 158  
TEL.022-218-1100（代）/ FAX.022-218-1110
- 関東地区 セルスター工業（株）本社  
〒242-0002 神奈川県大和市つきみ野 7-17-32  
TEL.046-273-1100（代）/ FAX.046-273-1106
- セルスター工業（株）水戸出張所  
〒310-0903 茨城県水戸市堀町795-2  
TEL.029-254-6911（代）/ FAX.029-255-1420

- 東海・北陸地区 セルスター工業（株）名古屋営業所  
〒464-0025 愛知県名古屋市中千種区桜が丘295番地  
第8オオタビル 4F  
TEL.052-789-0099（代）/ FAX.052-789-1510
- 関西・中国・四国地区 セルスター工業（株）大阪営業所  
〒562-0004 大阪府箕面市牧落 3-8-7  
TEL.072-722-1880（代）/ FAX.072-722-5575
- 九州地区 セルスター工業（株）福岡出張所  
〒811-1314 福岡県福岡市南区的場二丁目15番16号  
TEL.092-588-1101（代）/ FAX.092-588-0057
- 名称、所在地、電話番号は変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

「全国自動車用品工業会会員」「ドライブレコーダー協議会会員」——— <http://www.cellstar.co.jp>

**CELLSTAR® セルスター工業株式会社**